

2013年度事業報告書

一般社団法人プロジェクトデザインセンター

1. CSR関連事業

企業の社会貢献活動のコンサルティングや調査事業、札幌市の「買って食べてサッポロスマイル事業」などの事業を受託した。

プロジェクトデザインセンターが北海道内では、CSR分野について一定程度のポテンシャルを確立した一年だった。

また、昨年度に引き続き、Hokkaidoコミュニティcaféクミアイ及びサッポロ5リボンズ、北海道CSR研究会の事務局業務を担当した。事務局業務には収益性はないが事業内容がCSRにつながることで、間接的な効果は大きいと考えられるので、引き続き事務局業務を担当していく。

また、2013年4月より代表理事の加納が㈱北海道日本ハムファイターズの社会貢献活動関係のアドバイザーに就任した。プロジェクトデザインセンターでの活動が評価されたものである。

2. 省エネ事業

企業の省エネコンサルティング及び環境活動事業を本格的に実施した。省エネ分野での事業実績を挙げることで土台を構築することができた。この事業の実績とMETI事業の実績を包含して次年度は新たな事業展開（LLCエネロスバスターズの設立）を行うこととした。詳細は後述する。

3. METI事業

経済産業省の補助事業である「事業継続の新たなマネジメントシステム規格その活用等による事業競争力強化モデル事業」に採択された。

このモデル事業は、地域・業界・サプライチェーンなどの広域的なグループを全国から公募し、災害時の事業継続（ISO 22301）やエネルギーマネジメント（ISO 50001）に基づいた取組を支援することで、その成功事例を抽出・分析し、モデルとして共有することによってわが国の産業における競争力強化を促進していくことを目的にしたものである。採択された事業概要は以下の通り。

<事業概要>

1. 既存設のメンテナンスを中心にした、積雪寒冷地型のエネルギーマネジメント「さっぽろエネルギースタイル」の確立

2. 札幌市がISO50001の取得を目指し、トップランナーとしてのエネルギーマネジメントシステムのノウハウを他の公共施設や民間施設へ積極的に提供する

構成メンバーは、一般社団法人プロジェクトデザインセンター、札幌市、株式会社東洋実業、一般社団法人北海道再生可能エネルギー振興機構。

役割分担は、札幌市が率先してISO50001の取得を目指し、エネルギーマネジメントシステムのノウハウを他の公共施設や民間施設へ積極的に展開するとともに、事業化や省エネ改修の産業化のための諸施策を官民で連携して検討していく。総合ビルメンテナンス業を営む株式会社東洋実業が省エネ診断、改修工事の設計・施工管理・分析、技術指導・人材育成を担当し、自治体や企業の会員を広く道内に擁する一般社団法人北海道再生可能エネルギー振興機構が普及広報を担当する。

既存設のエネルギーロス・熱ロスを防ぐことにより、エネルギー消費量が3割以上削減できるケースが多くあり、その実際の効果を検証し成果を取りまとめた。

今後行政、民間事業者と協働しながら、このようなエネルギーマネジメントをさっばろエネルギースタイルとして確立し、積雪寒冷地のエネルギー効率を向上させながら、新しい事業・産業の創出につなげていくものである。

4. その他

以下の活動に取り組んだ。

- (1) 北海道 エネルギーチェンジ100プロジェクトの中心メンバーとして活動
- (2) 各種講座の講師
- (3) LLCエネロスバスターズの設立準備

< LLCエネロスバスターズの概要 >

ビル・商業施設・ホテル・病院・学校などの業務用施設では、一般に考えられているよりもはるかに大きなエネルギーロス（エネロス）が発生している。それはほとんどの場合見過ごされており、社会的な盲点と言っても過言ではない。

エネロスの主な原因は、「既存設備のメンテナンス不良」、「本州仕様の運転制御やエネルギー管理」、「電気・ガス・重油、建物・ボイラー・配管などエネルギー管理が縦割りエネルギー利用の最適解がわかりにくい」ことなどである。

エネロスバスターズはエネルギーマネジメントの「かかりつけ医」として、エネルギーロスの診断と治療法をフルサポートで提供し、エネルギー消費量の削減と快適性の向上の両方を実現を通して持続可能なエネルギー社会づくりに貢献していく。

サービス内容は、省エネ診断、省エネリフォーム工事監修、エネルギーマネジメント、普及啓発セミナー等を実施する。詳細は、ホームページ参照。

<http://enelossbusters.wix.com/enelossbusters>

5. 総括

2013年度の2大トピックスの一つが、経済産業省の「事業継続の新たなマネジメントシステム規格その活用等による事業競争力強化モデル事業」に採択されたことである。本モデル事業によって当法人が予てより検討中であった省エネ事業の事業化内容の検証や事業スキームなどを具体的に検討することができた。その結果として事業会社として「LLCエネロスバスターズ」を設立することとした。

一般社団法人プロジェクトデザインセンターは、主に、省エネ分野の啓発、研修分野を担当し、LLCエネロスバスターズが具体的な省エネ提案、工事施工、運用管理、指導などを担当する。

もう一つのトピックスは、代表理事の加納が㈱北海道日本ハムファイターズの社会貢献活動分野のアドバイザーに就任したことである。同社にてファイターズ基金によって困難な状況にあるこどもたちの支援をしている団体などの支援活動を始めた。

この取り組みは、企業が利益から寄付をするのではなく、道民の寄付を市民活動団体につなぐ新たなファンドレイジングモデルを興したことに価値がある。持続可能な社会の実現に向けて有意義な取り組みとなった。

また、プロジェクトデザインセンターが企画・運営を行った札幌市の「買って食べてサッポロスマイル」プロジェクトがコーズマーケティングの好事例として評価されたこともCSR分野での大きな成果であった。

一般社団法人プロジェクトデザインセンターとしては、今後も、環境分野では省エネ事業の促進、まちづくり分野では、企業のCSR活動の促進に専門分野としてのノウハウを蓄積しながら活動を進めていく。

以上